

事務事業名	家庭教育学級事業	事務事業No.	30201000610	所属課	生涯学習課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 子育てやしつけについての学習の場、悩みを話し合える場として家庭教育学級ができた。市としても家庭教育学級に対し相談対応・支援を開始した。平成15年度に県の補助金等の見直しがあり家庭教育学級の補助金が廃止され、市の主催事業となった。市補助金の交付方法にばらつきがあったが、平成19年度から金額を統一して各小中学校家庭教育学級に補助している。 市補助金検討委員会からの答申を受け、平成27年度より各学校の児童生徒数に合わせた人数割りで補助金額を交付することとした。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・保護者同士が仲良くなりお互いの悩みを打ち明けられてよかった。子どもとのふれあいで楽しい時間が過ごせた、などの声がある。 ・補助金については一律ではなく、児童・生徒数に応じた補助金額を交付すべきとの意見がある。(平成25年度補助金検討委員会答申) ⇒平成27年度より児童生徒数に応じた人数割りで補助金額を交付することとした。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 保護者の家庭教育上の話し合いの場及び問題解決を支援する目的で開設されており、結果として子どもの健全育成に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 家庭教育とはすべての教育の出発点であり、子どもの健全な身体と人格の発達のために子育て世代へ「家庭教育」関係の学習活動をサポートする必要があるため、妥当であると考え。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 各学校単位で行っている家庭教育学級に関しては、それぞれに年間計画を立て、学校行事と組み合わせて子育てに関する学習を実施しているため、向上余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 小学校及び中学校入学時に、親として自分自身を見直す大事な学習機会であるため、廃止すると影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類似する事業が無いため。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 学級生(保護者)からも負担金を徴収しているため、市補助金を削減する事は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全ての小中学校で実施されており公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	近年の核家族化、少子化、共働き家庭の増加、地域の間関係の希薄化などの急激な環境変化の中で、家庭教育の教育力の低下が指摘されており、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まってきている。 そのような中で、家庭教育学級は学級生からも好評であり、子育ての重要性を再認識する機会として、大切な事業である。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上				維持		○		低下			
成果	向上													
	維持			○										
	低下													
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果 ⑤														
コスト削減優先度評価結果 ⑧														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>